

## イベント掲示板

### 建築・建材展2012



3/6 → 3/9

Tue. 10:00~17:00(最終日のみ16:30)

大和屋  
初出展

会場: 東京ピッグサイト (東5・6ホール)  
ブースNo. AC5138

今回は、寸法安定性にすぐれた、新しい内装材の提案を行います。高気密高断熱の住宅には特にオススメの商品です。もちろんレッドペイン材もふんだんに使ったブースとなる予定なので、ぜひご来場ください！

## 大和屋ニュース



●2月29日は、大和屋188周年の創立記念日となり、休業日となります。  
ご迷惑おかけしますが、ご協力お願い致します。

●2011年3月11日に発生した東日本大震災で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。  
大和屋では、くまがや館及び188周年記念イベント実行委員会主催による「3.11熊谷チャリティーオーク」を開催致します。

2012年3月11日(日)  
AM9:00~PM2:00

●歩いた距離(1km)×100円=東日本大震災義援金  
※義援金はくまがや館及び協賛各社より専用口座にて受け取らせていただきます。

コースは3種類。

- ①荒川チャレンジコース(約9km)
- ②荒川コース(約6km)
- ③星川コース(約3km)



詳しくはこらら。



くまがや館

検索

## マメ知識

### “木”と“草”



構造材やフローリングに使われている木材は木、疊のイクサは元をたどれば草でした。樹脂樹や花壇、畑の野菜と、私たちの周りにも植物がたくさんあります。では「木」と「草」の違いとは何でしょうか？

1年で枯れてしまうのが草。  
幹があるのが木？



正解は、横に太るもののが「木」なんですね。(肥大成長)※  
※リザンの構成単位の核で分ける分類方法もあります

イメージ図

「草(草本)」は細胞分裂をして成長する点(図1-1の「成長点」)が頭のてっぺんや根の先にあり、縦方向には成長(伸長成長)しますが、横方向へは成長しません。竹は年々太くたくましくなるイメージがありますが、それは細胞1つ1つが横に太っているからで、新しい細胞が生まれているわけではないんですね。

一方、「木(木本)」は樹皮の下に形成層という層があり、そこでどんどん新しい細胞がつくられています。新しい細胞は、ちょうど人の皮膚と同じように、外へ外へと押し出されるため、横方向へと成長することができます。

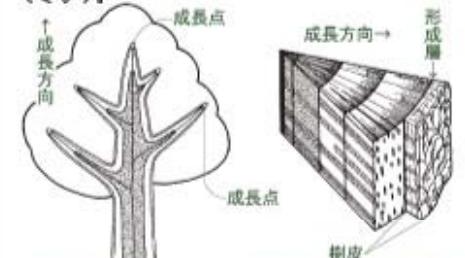


図1-1 樹幹の成長

図1-2 樹幹(針葉樹材)の横断面

次回は「針葉樹」と「広葉樹」についてです。

## 編集後記



はじめまして。

このたび「かわら版通信創刊号」が発刊いたしました。定期的に、大和屋建材館より皆様に情報発信させていただきます。ご意見・ご感想等いただけたら何よりです。

イベント情報・大和屋ニュースにもありますように、3月には建築・建材展・チャリティーオークなどを予定しております。

展示会ご来場をご希望される方は、お気軽にご連絡ください。

# かわら版通信

2012年3月号

創刊号

大和屋 株式会社 建材部  
〒380-0031 群馬県桐生市末広2-18  
TEL:048-526-1008

## ごあいさつ

謹呈 立春の候 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを頂き、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、大和屋株式会社も創業188年を迎えることが出来ました。

これもひとえに皆様のご支援の賜物と感謝しております。



早いもので、来月で東日本大震災から一年になります。さまざまな角度から住生活が見直されてきています。福島原発は、日本にとどまらず、各国が環境とエネルギーを考え直す機会になりました。日本では、電力不足と言われ、計画停電や節電15%の目標が掲げられました。結果は、15%を達成した世帯は30%で、全体では8%と言われています。8割の方が節電を実施したと言われていますが、その節電方法は、暖房の仕方を変えたという回答がほとんどでした。昼の暖房を控える、暖房の温度を下げる、対策として厚着をしたとのことでした。住生活を犠牲にする我慢の方法が大半で、住生活産業に携わっている私たちにとって、とても耳が痛い話でした。

私たちには、ヨーロッパを中心多くパートナーがいます。ドイツでは、20年も前から少ないエネルギーで居住性の高い住宅の建築が進められています。快適で燃費の良い家が義務化され、国家レベルで省エネが実施されています。

私たちは、環境とエネルギーの価値を考え、お施主様(生活者)が望むことを、お施主様よりも早く感じとり、「物」と「事」を結びつけ、「新しい満足」を創造していきたいと思います。その「満足」を体験して頂くことで、お施主様の人生とライフスタイルを豊かにする価値の提案をしていきます。快適な住まいと環境をつくり、現代を生きた証として、次世代に誇れる「物」と「事」を残していきたいと思います。



つきましては、「かわら版通信」と題しまして、大和屋株式会社の活動、住宅産業に関する情報、ライフスタイルを含めた住宅のご紹介をしていきたいと思います。

今後も、快適な住生活の発展に全力を尽くして参りますので、お施主様と皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

建材部 部長 石原秀裕

